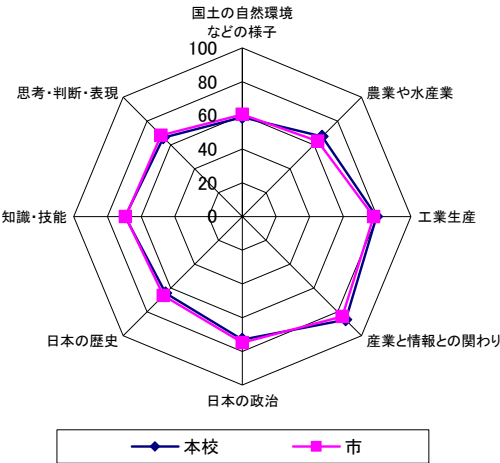


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	58.9	60.5	65.8
	農業や水産業	67.0	63.3	66.0
	工業生産	79.6	77.9	75.7
	産業と情報との関わり	86.7	83.8	76.6
	日本の政治	73.1	74.9	74.1
	日本の歴史	64.3	66.3	68.3
観点別	知識・技能	69.5	69.3	71.4
	思考・判断・表現	66.2	68.1	66.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は市の平均より1.6ポイント下回っている。 ●地図から日本の周辺の海洋名についてを問う問題の正答率が、市の正答率を5.4ポイント下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・地図帳と白地図を活用する学習を取り入れながら、その地域の気温や降水量を表すグラフも参考にして理解できるように指導していく。
農業や水産業	平均正答率は市の平均より3.7ポイント上回っている。 ○米の品質を高める工夫について理解している。 ●日本の主な食料の自給率について問う問題の正答率は、市の平均を上回っているものの、44.4%と低い。	・日本の食料自給率についてのグラフや資料を使ったり、輸入することによってのメリットやデメリットを話し合ったりするなどの学習を取り入れる。また、日頃から原産国等の表示を確認するなど、意識を高める指導をしていく。
工業生産	平均正答率は市の平均より1.7ポイント上回っている。 ○自動車の製造工程や部品を再利用する目的を問う問題の正答率が高い。 ●日本の主な輸入品・輸出品について問う問題の正答率は、市の平均正答率を下回っている。	・輸入と輸出の品目を正しく理解するため、国内生産の特色を踏まえてグラフを読み取ることができるよう指導していく。
産業と情報との関わり	平均正答率は市の平均より2.9ポイント上回っている。 ○情報の発信・受信の注意点や情報活用の現状についてを問う問題の正答率が高い。	・引き続き、教科を超えて情報についての利点・注意点を発達段階に応じて指導していく。 ・自分の持っている知識を生かして、様々な場面を想定し情報活用の利点・注意点を自分で判断できるような指導の工夫をしていく。
日本の政治	平均正答率は市の平均を1.8ポイント下回っている。 ○租税の役割について問う問題の正答率は、4.1ポイント高い。 ●議会政治について、資料をもとに考え表現する問題の正答率は、42.2%と低い。	・日ごろから社会情勢に興味を持てるように働きかけ、知識として定着できるような指導の工夫をする。 ・学習の振り返りで、ポイントとなる重要語句を入れながら分かったこと記述する練習をしていく。
日本の歴史	平均正答率は市の平均を2.0ポイント下回っている。 ○豊臣秀吉の業績についての理解を問う問題の正答率は、市の正答率を9.1ポイント高い。 ●室町時代の文化についての理解を問う問題の正答率は、38.9%と低い。	・デジタル教科書の映像資料や資料集の視覚的資料を有効に活用しながら理解を深めて行けるようにする。 ・室町時代の文化で現在にも受け継がれているものが多いことを確認し伝え、興味をもって学習できるような指導の工夫をする。